

II 油糧種子

1 2008/09年度の国際的な油糧種子需給の概要

○2008/09年度の油糧種子需給（予測）のポイント

2008/09年度の油糧種子需給は、中国での食用油需要やEU等でのバイオディーゼル用需要が拡大する中、米国大豆の作付拡大やEU等のなたねの増産などで、油糧種子全体としては、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

ただし、期末在庫量の積み上げはわずかであり、消費量の伸びから期末在庫率は若干低下し、引き続き油糧種子全体の需給は引き締まると見込まれる。

【生産量】

世界の油糧種子全体の生産量は、大豆、なたね等の増加から前年度より29.5百万トン増加（7.6%）し、417.3百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、米国において大豆価格の高騰や連作障害への懸念などで作付けが拡大したことなどから生産量が増加し、なたねについては、EU等で小麦の作付面積の拡大との競合もあるものの、これまでの天候も比較的好ましい状況で推移したことなどから生産量が増加すると見込まれている。

【消費量】

世界の油糧種子全体の消費量は、堅調な搾油需要の拡大などから、前年度より13.0百万トン増加（3.2%）し、415.1百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、中国、アルゼンチン等で搾油用需要の拡大などから消費量が増加し、なたねについては、バイオディーゼル用需要の拡大を背景としたEU、カナダ等の搾油用需要の拡大などから消費量が増加すると見込まれている。

【貿易量】

世界の油糧種子の貿易量は、1.2百万トン増加（1.3%）し、90.6百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、貿易量の4割強を輸入する中国でさらに輸入量の増加が見込まれるもののEUでの輸入の減少などから、ほぼ前年並の貿易量が見込まれている。一方、なたねについては、バイオディーゼル需要の拡大などを背景に輸入量の増加が見込まれている。

【期末在庫量】

世界の油糧種子全体の期末在庫量は、生産量が消費量を上回ると見込まれていることから1.0百万トン増加（1.7%）し、57.7百万トンとなる見込みである。また、穀物全体の期末在庫率は、期末在庫量は積み増しされるものの、その増加率は消費量の増加率に追いつかず、13.9%と0.2ポイント低下し、引き続き低水準となる見込みである。

品目別には、大豆については期末在庫量が取り崩されているものの、期末在庫率は2割を上回っており、世界全体としては極度の需給の引き締めりはみられない。一方、なたねは期末在庫を積み増すものの期末在庫率は、1割を下回っており、依然として低水準であると見込まれている。

表－1 世界の油糧種子需給

(単位:百万トン)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	油糧種子計	403.3	387.8	417.3	▲ 2.0	7.6
	うち、大豆	236.6	218.8	237.8	▲ 2.9	8.7
	なたね	45.2	47.3	52.0	0.8	9.9
	綿花	45.8	45.5	44.7	▲ 0.4	▲ 1.8
	ピーナッツ ひまわり種	30.5 29.8	32.3 27.2	33.4 31.8	0.2 0.3	3.5 17.0
消費量	油糧種子計	393.0	402.1	415.1	▲ 0.7	3.2
	うち、大豆	225.3	232.2	237.9	▲ 1.6	2.4
	なたね	46.5	48.7	50.9	0.7	4.4
	綿花	46.0	45.5	44.9	▲ 0.2	▲ 1.5
	ピーナッツ ひまわり種	30.4 29.4	31.9 27.1	32.8 31.3	0.1 0.2	2.6 15.4
うち、 搾油用	油糧種子計	329.0	340.6	350.7	0.0	3.0
	うち、大豆	196.1	205.1	207.3	▲ 1.0	1.1
	なたね	43.7	46.1	48.2	0.6	4.5
	綿花	34.0	34.2	34.4	▲ 0.0	0.8
	ピーナッツ ひまわり種	13.8 26.0	14.8 24.1	15.5 28.0	0.1 0.3	4.5 16.4
貿易量	油糧種子計	83.5	89.4	90.6	▲ 0.1	1.3
	うち、大豆	71.3	76.2	76.3	▲ 0.0	0.1
	なたね	6.6	8.2	8.8	▲ 0.2	7.3
	綿花	1.0	1.0	0.8	0.0	▲ 18.6
	ピーナッツ ひまわり種	2.5 1.9	2.5 1.3	2.6 1.8	0.0 0.1	3.2 41.4
期末在庫量	油糧種子計	72.6	56.7	57.7	▲ 0.8	1.7
	うち、大豆	62.5	48.8	48.9	▲ 1.5	0.1
	なたね	4.7	2.8	3.6	0.6	26.9
	綿花	1.1	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 19.8
	ピーナッツ ひまわり種	1.1 3.0	0.9 2.8	0.9 3.0	0.0 0.3	3.4 9.4
期末在庫率	油糧種子計	18.5%	14.1%	13.9%	▲ 0.2	▲ 0.2
	うち、大豆	27.7%	21.0%	20.5%	▲ 0.5	▲ 0.5
	なたね	10.1%	5.8%	7.0%	1.1	1.2
	綿花	2.4%	2.2%	1.8%	▲ 0.5	▲ 0.4
	ピーナッツ ひまわり種	3.7% 10.4%	2.7% 10.2%	2.7% 9.7%	0.0 1.0	0.0 ▲ 0.5

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、 「PS & D (July 2008)」

注: 期末在庫率の「前月予測からの変更」と「対前年度増減率」は、前月予測及び
前年度とのポイント差である。

【参考】2008/09年度の油糧種子需給予測の主な改訂（主要品目の前月予測と今月予測の差）

前月の予測からの改訂は、なたねの生産量は上方修正されたものの、大豆の生産量が米国が中西部の作付期の洪水の影響などから下方修正され、油糧種子全体で2.0百万トン下方修正されている。また、消費量もなたねが上方修正、大豆が下方修正され、油糧種子全体で0.7百万トン下方修正されている。消費量を上回る生産量の下方修正があったことから、期末在庫量も0.5百万トン下方修正され、需給は若干引き締まった。

○ 大豆

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 搾油用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	▲ 2.9	▲ 1.6	▲ 1.0	▲ 0.0	…	▲ 1.5
米国	▲ 2.9	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 1.4	0.1	▲ 1.0
ブラジル	-	▲ 0.3	-	0.3	▲ 0.0	▲ 0.6
カナダ	-	-	-	-	-	-
中国	-	-	-	-	-	0.0
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-

○ なたね

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 搾油用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.8	0.7	0.6	▲ 0.2	…	0.6
カナダ	0.4	0.2	0.2	▲ 0.2	0.1	0.4
オーストラリア	0.4	0.1	0.1	0.2	-	0.1
EU-27	-	-	-	-	-	-
中国	-	-	-	-	-	-
インド	-	-	-	-	-	-

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (July 2008)」、
「Oilseeds: World Markets and Trade (July 2008)」、「PS&D (July 2008)」

注：期末在庫量の変更については、2007/08年度の需給データの改訂により、2008/09年度の期首在庫量が修正されたことに伴う場合もある。